

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	建築史学特論B (Theory of Architectural History B)		
ナンバリングコード	R20220	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M009601	クラス名	-
担当教員名	木村 智		
履修上の注意、履修条件	建築史に関する基礎的知識を有すること。特に西洋近代建築史の中で触れられる言論や思潮のあり方について学習しますので、テキストに即した柔軟な読解力と解釈力が求められます。また、テキストを読み、考察、解釈したことを発表する機会を設けます。		
教科書	適宜授業内でテキストを設定し、配布する。		
参考文献及び指定図書	『テクニカルカルチャー』(ケネス・フランプトン著、松畑強+山本想太郎訳、TOTO出版) 『メディアとしてのコンクリート』(エイドリアン・フォーティ著、坂牛卓他訳、鹿島出版会)		
関連科目	世界建築史、日本建築史、建築計画2、住居論、建築史学特論A		

○基本情報			
授業の目的	建築史学の中でも西洋近代建築史という範囲を中心に、高度な知識に関する学習を行うとともに、建築史学研究に必要な論理構成力、文章の読解力、解釈力を習得します。		
授業の概要	建築史の中でも近代建築についての重要な技術・構法・様式史等を取り上げ、その内容について議論や解釈を行います。授業の中で解釈について議論を行うなど、インタラクティブな授業を展開する中で、通史の解釈を行います。歴史家によって構築された建築史という物語のあり方を学び、新たな建築史を構築するための基礎的知識を習得します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	建築史研究において、自らの問題意識を設定できる通史の解釈にあたり、自らの意見を述べる事ができる			30点
【知識・理解】	西洋建築史についての基礎的知識がある			10点
【技能・表現・コミュニケーション】	研究における仮説を提案できる 仮説を文章や図で表現し、理論を深めることができる		50点	
【思考・判断・創造】	自分の関心や問題意識から、研究における仮説を構築することができる			10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<p>&lt;成績評価のポイント&gt; 1. 授業の予習・復習の内容 2. 議論や質疑応答への取組姿勢</p> <p>&lt;成績評価のための提出物&gt;            1. パワーポイント等での発表 2. 16週目までに最終レポートの提出            [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を特別優れて満たしている。            [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を優れて満たしている。            [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を良く満たしている。            [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p>	

○その他	
フィードバックは適宜行います。提出物は確認後返却します。	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	建築史学特論B (Theory of Architectural History B) 木村 智	授業コード	M009601
<b>学修内容</b>				
<b>1. 授業の概要・ガイダンス</b> 授業全体の概要説明(スケジュールや成績評価の方法など)を行います。また、授業で使用するテキストを配布します。その上で、テキストの著者やまとめられた当時の時代背景について紹介します。(以下、『建築史学特論B テキスト』とする。)				
予習	西洋建築史に関する教科書や既往研究についての調査			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>2. 建設技術史について 1</b> 建設技術史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>3. 建設技術史について 2</b> 建設技術史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>4. 建設技術史について 3</b> 建設技術史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>5. 建設技術史について 4</b> 建設技術史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>6. 建設技術史について 5</b> 建設技術史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>7. 建築構法史について 1</b> 建築構法史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>8. 建築構法史について 2</b> 建築構法史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	建築史学特論B (Theory of Architectural History B) 木村 智	授業コード	M009601
<b>学修内容</b>				
<b>9. 建築構法史について 3</b> 建築構法史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>10. 建築構法史について 4</b> 建築構法史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>11. 建築構法史について 5</b> 建築構法史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>12. 建築様式史について 1</b> 建築様式史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>13. 建築様式史について 2</b> 建築様式史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>14. 建築様式史について 3</b> 建築様式史について、『建築史学特論B テキスト』を読解を通じて理解していきます。				
予習	『建築史学特論B テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論B テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>15. まとめ</b> これまでの授業内容のまとめを行います。また、期末のレポートを出題します。				
予習	『建築史学特論A テキスト』の該当する部分を読み、関連する事項を調べておく。質問事項を列記しておく。			約2時間
復習	授業内で扱った『建築史学特論A テキスト』の内容を各自で再構成し、自分の意見をまとめる。			約2時間
<b>16. 期末試験</b> 期末試験は行いませんが、授業内容をまとめたレポートをまとめて、期日までに提出してもらいます。				
予習	最終レポートの作成に向けての調査、レポートの作成を行う。			
復習	教員の指摘に対して、追加の調査を行う。			